

自立 敬 愛

市川南中学校だより No. 2

R 2. 4. 20 校長 上田

学習支援動画を配信!

全教員が授業力アップに取り組みます

▼4月16日、新型コロナウイルスの感染拡大に対応するため、「緊急事態宣言」が山梨県にも発令されました。また、県内感染者数が急増していることや感染者の生活圏が拡大していること踏まえ、市川三郷町内の小中学校も5月6日まで臨時休業を延長することになりました。▼引き続き、うがい、手洗いなどの感染症対策を徹底するとともに、人の集まる場所等への外出を避け、基本的に自宅で過ごさしてください。▼ただし、家にこもってばかりではストレスもたまってしまいます。3密に気を配りながら、日中、屋外で散歩やサイクリングをして、心と身体をリフレッシュしたり、読書や絵画、工作など普段あまりできない事に、挑戦したりするのもいいと思います。是非親子で話し合い、親子の絆を強くする機会にして欲しいと思います。▼一方、これだけ休みが長く続くと心配になるのが勉強だと思います。これまで、市川南中では週に一度の割合で家庭訪問をして、学習プリントをお届けしています。しかし、他にも生徒のために何かできることはないかと考えたのが授業に代わる**先生達の手作り学習動画の配信**です。はじめての試みですので、内容的には満足いただけないかもしれませんが、ぜひ活用してみてください。▼これらの動画は**本校のホームページ**で見ることができます。合わせて、先生達からの**「応援メッセージ」も配信**しましたので、是非ご覧下さい。

市川三郷町立市川南中学校



<http://www.ichikawa-minamichu.ed.jp/>

▼また、このような時ですので、何か心配事等がありましたら、お気軽に学校にご相談ください。

▼臨時休業中ですが、4月16日(木)校内研究会があり、今年度の市川南中学校の研究の内容及び研究計画が確認されました。以下はその骨子です。

研究主題

「自ら考え、判断し、主体的に行動できる生徒の育成」
～学び合い、かかわり合いに重点をおいた学習指導の工夫を通して～

研究仮説

学び合い、かかわり合いに重点をおいた学習指導の工夫を行うことで、自ら考え、判断し、主体的に行動する力が培われるであろう。

研究内容・方法

①原則として月1回の研究日を設定し、計画的に研究を進める。②研究全体に関する企画や立案は、研究推進員会が中心となり組織的に行う。③**全教員が1・2学期に1回ずつ設けた「授業交流期間」中に授業公開を行い、授業力の向上を図る。**④**日常的にお互いに授業参観を行い、気づいたことを授業者に伝え学び合うなどOJTの充実を図る。**⑤**指導主事を招聘しての研究授業を年2回設定し、道徳と教科の授業力の向上を図る。**⑥『南中プラン』に沿って**ストレス・マネジメントの授業を行う。**⑦年度の最後に研究のまとめを行い、成果と課題を明らかにし、次年度につなげる。

<本校が考える確かな学びとは>

- ①「読み・書き・計算など、すべての生徒に身につけさせたい各教科の基礎的・基本的な知識・技能」(知識・技能)
- ②「既習の知識と技能をもとにし、判断する力」(活用)。「わかる・わからないを含め、自分の考えを表現する力」(判断力・表現力)
- ③「自ら学ぼうとする姿勢」(学ぶ意欲)の三つの要素が総合的に関係し合い、作用し合うもの。

<本校が考えるかかわり合いとは>

授業の中で、生徒が「かかわり合う」ことが重要としているのは、「ものとかかわり」「仲間とかかわり」「教師とかかわり」の場面である。